

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 金 2	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション English Communication			
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等) 2Ef	科目分類		外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者)/Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 山崎 祐一 /Eメールアドレス: yamasaki@nagasakiu.ac.jp /研究室:非常勤講師控室 /オフィスアワー:授業の前後				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。 授業方法: 英語圏の大都市で日本人が実際に現地の人々と遭遇し、語り合っていくという設定のもとで、ビデオ教材を用いながら英語圏での経験や出来事を英語で聞き、実際に英語で対話練習をする。 授業到達目標: コミュニケーションな活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることができる英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。 第1回 英語の音声システム(日本語との比較と発音練習) 第2回 場所やその他の情報の入手に関する表現 第3回 要望を伝える表現・電話によるコミュニケーション 第4回 尋ねる表現・教える表現・初対面の人との接し方 第5回 異文化理解・発音・英語表現に関する復習とコミュニケーション・アクティビティ 第6回 相手に好みを聞く表現・自分の好みを相手に伝える表現 第7回 食事中に使う表現 第8回 異文化理解・発音・英語表現に関する復習とコミュニケーション・アクティビティ 第9回 店員が使う表現・店で客が使う表現・店員との接し方 第10回 丁寧に依頼する表現・許可を求める表現・希望を伝える表現 第11回 親しい人への挨拶・様子を尋ねる表現・尋ねられたことに対する応答 第12回 異文化理解・発音・英語表現に関する復習とコミュニケーション・アクティビティ 第13回 感謝する表現・別れの挨拶 第14回 空港、機内で使われる表現・税関で訪ねられる質問 第15回 異文化理解・発音・英語表現に関する復習とコミュニケーション・アクティビティ				
キーワード	異文化間コミュニケーション、異文化理解、実践的英語運用能力、発音			
教科書・教材・参考書	Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス)			
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、クイズ、授業への積極的参加状況(30%)を総合して評価する。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				